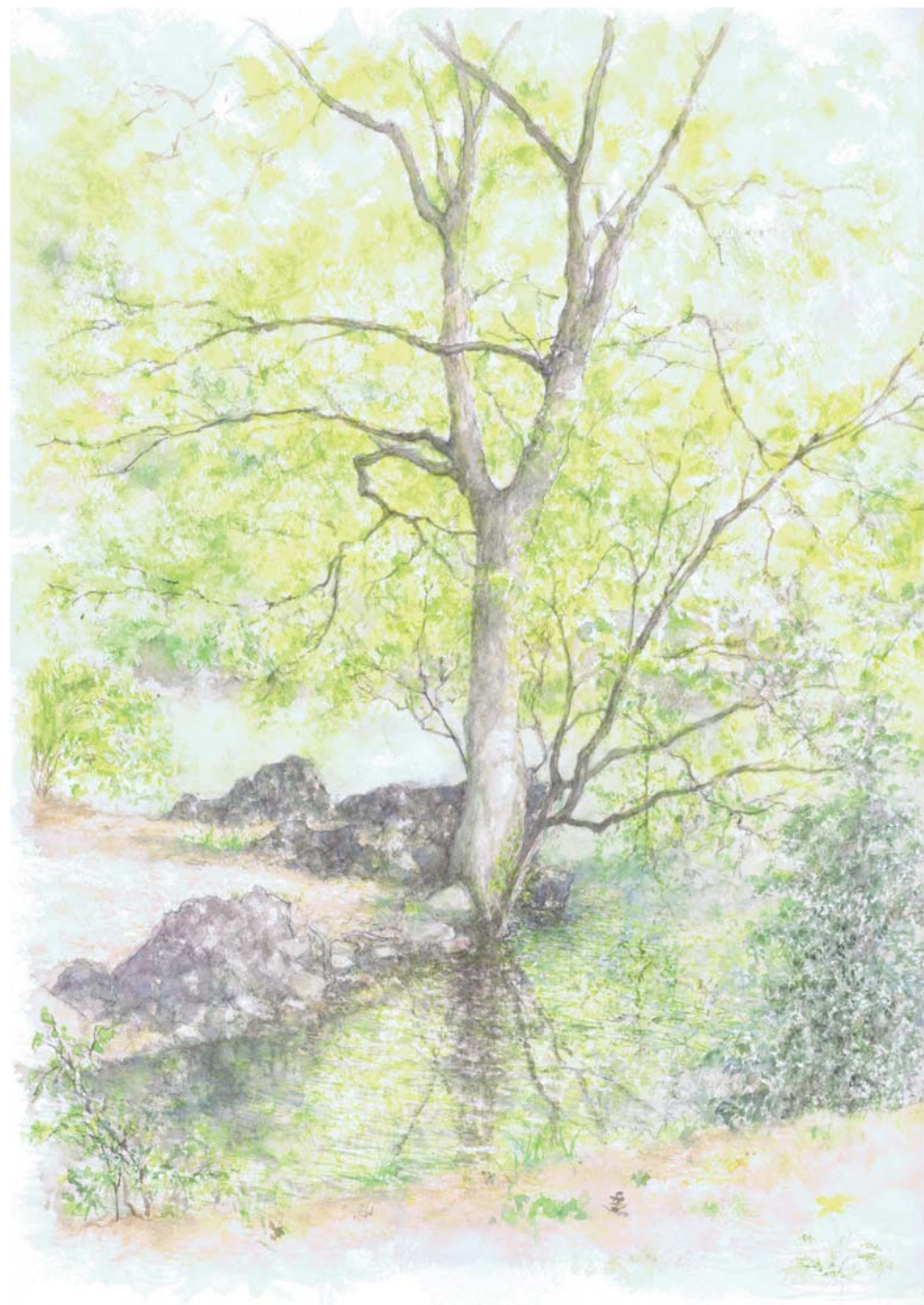


# Network 9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

2020年3月号 No.356



# Network 9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン 2020年3月号 No.356

表紙 「春の夢水辺」(新宿御苑) 2014年4月21日

絵は私の我執そのものです。テクニックでかくしても、自分がそのままです。

森 孝之 [東京三組 福成寺門徒]

昭和37年、東京都江東区深川に生まれる。  
美術学校や画家に師事することなく水彩による風景画にのめりこむ。  
以来30年あまり水彩画の奥深さにとりつかれ現在にいたる。  
公募展に出展することもなく、現場で描く事を楽しんでいる。

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2020年3月1日  
編集 教化委員会広報・出版部門  
発行 真宗大谷派東京教区教化委員会  
〒177-0032 練馬区谷原1-3-7 東本願寺真宗会館  
TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

# もくじ

●03	特集 教区報恩講	
●13	法語ポスター	
●	教区教化通信 研修部門・児童教化連盟	
●14	子ども報恩講	本田 彰一
	教区教化通信 「同和」協議会	
	教学者は「是旃陀羅」問題に	
●15	己の血を流せ!③	岩寄 徹
	はい!こちら真宗会館です	
●16	駐在日記	渡邊 誉
	はい!こちら真宗会館です	
●17	所員のつぶやき	大橋 百花
●19	敬弔・涌	本田 彰一

2020年



# 東京教区 報恩講

テーマ：今、いのちがあなたを生きている  
人にであう 教えにであう 自分にであう

2020年

## 東京教区 報恩講 日程

● 1月26日(日) 帰敬式(受式者60名)

法話講師

中津 功氏(親鸞仏教センター)

● 1月27日(月) 遠夜法要・報恩講の夕べ

遠夜勤行

出仕担当組：東京8組

感話

加藤 慈子氏(群馬組 了覺寺坊守)

法話講師

海 法龍氏(三浦組 長願寺住職)

夕べ演奏

須田 宏美氏(ヴォーカリスト)

馬場 孝喜氏(ギタリスト)

● 1月28日(火) 晨朝法要・日中法要

晨朝勤行

出仕担当組：東京7組

感話

大塚 昇氏(東京4組 真英寺門徒)

法話講師

藤井 義信氏(長野5組 専念寺候補衆徒)

合唱

TOKYOサンガ9

日中勤行

出仕担当組：山梨組

感話

林 栄美子氏(東京2組 林光寺門徒)

法話講師

海 法龍氏(三浦組 長願寺住職)

各法話は次号(357号2020年4月号)に掲載します。



# 26日 帰敬式

大谷浩之鍵役執行のもと60名の方が帰敬式を受式。剃刀を受け、仏弟子としての名告りとして法名を授与されました。中津功氏（親鸞仏教センター雇員）による帰敬式法話の内容は次号に掲載します。

群馬組 西極寺 皆川 一郎さん（釋 一閃）

荘厳な雰囲気のある儀式で緊張しました。また、受式者代表の挨拶をさせて頂き、光栄でした。今日からどんな風に生活が変わっていくのかは分かりませんが、本当の「仏弟子」になったわけですから、気持ちが引き締まる思いです。受式できて良かったです。

群馬組 西極寺 今西 隆義さん（釋 隆義）

昨晩は気持ちが高ぶってきて、つくづく「良いものだな」という気持ちになりました。

私は妻の死（お連れ合いの桂子さんは、平成21年に亡くなり釋 尼桂瑞という法名を頂かれた）が縁となって、素直な気持ちで「ありがとうございます」と、すんなり受式することができました。みなさんも難しく考えないで、受けられたら良いんじゃないかと思いません。



（左から）西出さん、皆川さん、今西さん

群馬組 西極寺住職 西出 喜則

群馬組では毎月、「親鸞教室」という勉強会を開いています。その会にて「法名は戒名とどう違うのか」という質問が出ました。「仏弟子としてのお名前を頂くことで、新たな歩みが始まるのですよ」と説明したものの、初めは門徒さんたちから「よく分からない」と言われてしまいました。しかしその後、みなさんが教えを聞き続けていく中で、ついには自発的に「帰敬式を受けて法名を頂きたい」と受式を希望されるようになり、私自身がびっくりしています。

宗派では青少幼年の帰敬式受式を奨励しております。今回家族で受式されました高倉さんご一家の父・秀樹さんに代表してお話いただき、ご息の一樹さん、樹人さんからもお話をいただきました。

高岡教区 第3組 宗善寺

高倉 秀樹さん 〈釋法覺〉

康子さん 〈釋尼法海〉

一樹さん 〈釋護法〉(18)

樹人さん 〈釋求法〉(13)

高倉 秀樹さん

子どもの時から自分の祖母がお内仏で勤行しているのを毎日のように見ていました。祖母の家に行つて、祖母の横で一緒に正信偈をとなえると褒められたりしました。そういうことで浄土真宗に親しみを持っていました。

私が病気をしまして、自分の生き方をもう一度見直していこうと思う時に帰敬式のことを知りまして、「門徒にちゃんとなろう」と思い、それなら家族全員で今回受けさせていいただきました。

子どもに帰敬式のことを話せば、「そんなのヤダよ」と言うと思ったのですけれども、最初から二人ともイヤとは言わなかった。参加してもらえたので親としてもうれしく思いま



(左から)秀樹さん、樹人さん  
一樹さん、康子さん

した。やっぱり実家の方で法事に出ていたからだと思えます。今は家にお内仏があるわけでもないですし、仏教に親しむということは少ないのですけれども、やはり盆暮れに帰った時にお内仏に手をあわせて「ただいま」「行ってきます」という形はずっと続けてきました。そういったところで、多少子どもたちが理解してくれていたのかなと思います。

青少年受式者 一樹さん、樹人さん

- ・ 受式の理由はお祖父ちゃんのところは浄土真宗だからです。
- ・ 念珠の持ち方がわからなくて戸惑いました。
- ・ 剃刀は髪をゴソツと剃るのかと思いましたが、当てられている感覚がありました。





27日

# 速夜

27日の速夜法要は大谷浩之鍵役のご参修のもと出仕担当組である東京8組をはじめ、准堂衆会や教区内の僧侶・参詣者によって勤められました。感話に加藤慈子氏(群馬組了覺寺)。2日間にわたる報恩講法話は海法龍氏(三浦組長願寺住職)よりいただきました。  
 (報恩講での法話は次号法話特集にて掲載します)



埼玉組 宗泉寺 山田 覚晟さん

宗泉寺さんとは、30年位前、先代の住職のときからの付き合ひとなります。月1回以上行われているお寺の聞法会の他に、さいたま親鸞講座に行っています。教区報恩講は15年位前から参詣しています。宗泉寺は門徒間の団結力が強いと思います。いつもは埼玉から電車で来ていましたが、今年は住職の車にみんなで乗って来ました。



三浦組 長願寺 水谷 崇之さん

報恩講は、年に一度の本山での大きなお勤めと各お寺でのお勤めから成るとい印象だったので、教区報恩講への意識は薄かったのですが、雅楽が入ったり法要に出仕される方がたくさんいたりして、仏事としての報恩講に触れることができたような気がしました。他寺のご門徒さんに声を掛けられて、他の真宗のお寺で多くの方々が報恩講を勤められて、その形が残っていたから、今日参詣する事ができたのかなと思ひ、つながりを感じました。

今回で団体参拝したのは3回目です。私たちの中には4回以上来られている方もいます。最初の雅楽は新鮮でとても感動しました。3回目の団体参拝ということもあり、落ち着いてゆつくりと聞くことができました。ご法話も楽しみにしてきました。

自坊での報恩講との違いは、自坊の報恩講はお齋を手作りしていますので準備に迫られ、こなしているという感覚になりがちですが、どちらも違った良さがあります。今回参加し



茨城一組 浄善寺 御一行

てみて感覚的なことを言葉にするのは中々難しいことですが、感動しているという事実があります。精神が引き締まる思いです。

### 場外パートスタッフ

埼玉組 白蓮寺 石川 聖

教区の伝道講習会で渡邊駐在に誘って頂いたのが、報恩講スタッフになったキツカケです。担当は場外パートで、主に車で来られた方のご案内・ご誘導をさせて頂きました。お越し下さった方が、安全に参加して頂くための大切な仕事のひとつだと思っております。同じく場外パートを担当したスタッフの皆さんと力を合わせて仕事するのが楽しかったです。



## 報恩講の夕べ

報恩講の夕べは「音の力を信じて」と題してヴォーカリストの須田宏美さんとギタリストの馬場孝喜さんによる歌と演奏があり、須田さん作詞作曲のオリジナル曲sou「想」やnagi「凧」などが披露されました。





晨朝法要



日中法要

28日  
じんぢょう  
にっちゅう

# 晨朝・日中

28日の晨朝法要は東京7組、日中法要は山梨組が出仕を担当。准堂衆出仕のほか、参勤者や参詣者でお勤めしました。

晨朝感話は大塚昇氏(東京4組真英寺)、晨朝法話は藤井義信氏(長野5組専念寺)、日中感話は林栄美子氏(東京2組林光寺)よりいただきました。



横浜別院 笹森 隆子さん

もともと17、18年位前から個人で真宗会館に来ていました。自宅の近くに横浜別院があり、ほぼ毎日お朝事あさじに行つて三洵念仏みつゆりや和讃を繰り読みで読んだり、輪番りんぱんさんのお話を聞いています。何回も教区報恩講に来ていますが、今日は初めて雅楽の前の席に座りまして、荘厳な雰囲気です。びつくりしました。





真宗雅楽会

東京 8組 西光寺 大滝 清純

楽器。パート 龍笛

埼玉組 大聖寺 大滝 澄雄

楽器。パート 太鼓

(お二人からお話を伺いました)

中学1年生の頃から雅楽をはじめました。この雅楽隊には3年程前から参加させて頂いております。参加させて頂いたきっかけは父

親が先に入っていたからです。月に一回ほど全体での練習があり、個人での練習は毎日行っております。

雅楽は他の音楽とは違う独特なテンポ・リズムが面白いです。独特な世界にしていると感じることが出来ます。

興味を持たれた皆さん、雅楽で使われている楽器は一見するととても値段が高く見えますが、プラスチック製のお求め安い価格のものもあります。琵琶などの弦楽器を練習していますと、血が出るほど手を痛め、辛く感じる時もあるのですが、雅楽は何よりも楽しいです。

東京 8組 法専寺 御一行

念仏によって様々な人との関わりが広がりを自分を見つめ直すことができます。また、たくさんの方に会えて、今まで知り得なかった自分に気づかされます。

そのように受け取り、本日のご法話を聞かせて頂きました。講師の藤井氏が、私たちに理解できるように何度も言葉を言い換えたり、言い直したりして伝えようとして下さり、わかりやすくご法話を聞くことができました。



# 報恩講スナップ集



日中感話  
林 栄美子 氏(東京2組林光寺門徒)



逮夜感話  
加藤慈子 氏(群馬組了覺寺坊守)

**感話者の皆様  
お疲れさまでした!**



晨朝感話  
大塚 昇 氏(東京4組真英寺門徒)



逮夜/日中法話  
海 法龍 氏(三浦組長願寺住職)



晨朝法話  
藤井義信 氏(長野5組専念寺候補衆徒)

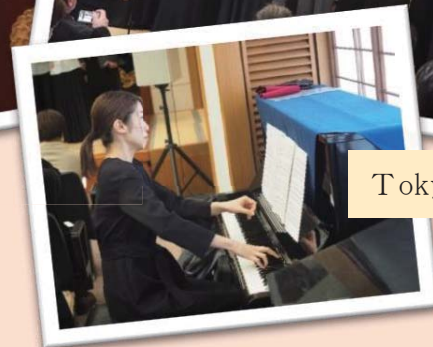
**法話の後はお念仏を申しましょう**



帰敬式法話  
中津 功 氏  
(親鸞仏教センター)



Tokyo サンガ9の皆様





ボランティアパート



ボランティアパートテント内にて



参詣者受付



書籍販売コーナー



接待パートの皆さま

報恩講法話は次号特集にて掲載します



◆おみがき  
今年も多くのご門徒の皆様  
にご参加いただきました。



▲職員の皆さんも



◀和気あいあいと

# 事前準備 おみがき・仏華立て

報恩講では、当日を迎えるにあたり、様々な準備があります。このページではおみがき並びに仏華立ての様子をご紹介します。



▼立派な仏華が完成しました

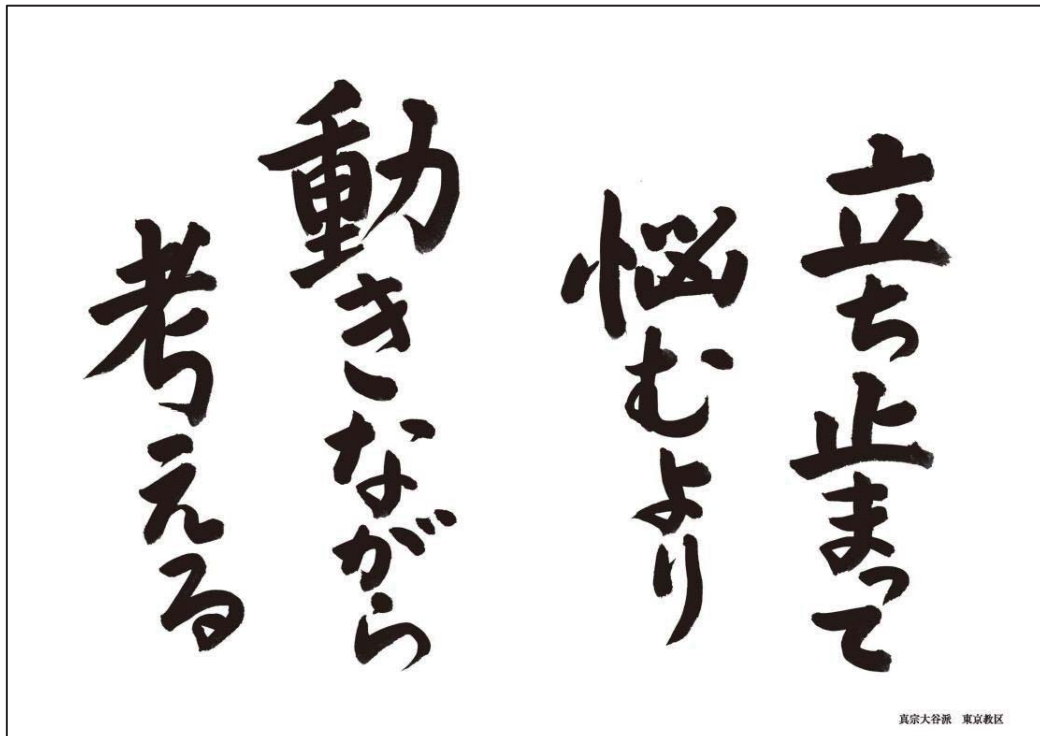
◆仏華立て  
今回は、茨城一組福法寺住職の石川真樹さんと、ご友人の小久保武さんに立ていただきました。



▶相談しながら



## 今月の法語



- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)  
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。  
詳細は東京教務所まで。

教区教化通信 研修部門・児童教化連盟

# 子ども報恩講 (2月2日)

児童教化連盟副委員長 東京1組 本明寺 本田 彰一

昨年度より始まった「子ども報恩講」は児童教化連盟の事業としてだけでなく、今年度より研修部門との共催という形で行われることとなりました。

この「子ども報恩講」では得度をした9歳から15歳までの装束を付けた人たちを中心に役割を担当し、得度の有無に関わらず、子どもも大人も一緒にお勤めをいたします。今回の法要にあたっては得度研修（研修部門）の14歳未満を担当した内藤聖氏（湘南組長徳寺）にお勤めのサポートを、中根信雄氏（東京5組明福寺）にお話をいただきました。

まだ始まったばかりの「子ども報恩講」ということもあり、試行錯誤を重ねなければなりません。子どもたちと共に成長していけるような「子ども報恩講」にしてまいりたいと思いますので、これから多くの方にご参加いただきますようお願い申し上げます。



じれん「子ども報恩講」 場所：東本願寺「真宗会館」 2020年2月2日



# 教学者は「是旃陀羅」問題に己の血を流せ！③

「同和」協議会会長 岩寄 徹

≪1月号の続き(全5回1-3)≫

この「禿」という字は『涅槃経』に出てくることは承知の事実である。また日蓮の『立正安国論』でもこの部分を取り上げている。

善男子、我涅槃の後、濁悪の世に国土荒乱し、互ひに相抄掠し、人民飢餓せん。爾の時に多く飢餓の為に発心出家するもの有らん。是くの如きの人を名づけて禿人と為す。是の禿人の輩、正法を護持するを見て、驅逐して出ださしめ、若くは殺し若くは害せん。

「飢餓の為の故に発心出家するもの」を名付けて禿人とし、その禿人は「正法を護持するを見て」追放したり、殺害したり、害した

りする。として、禿人を規定している。

そして延喜14(914)年、三善清行は『意見封事十二箇条』に於いて「禿首のもの」を規定している。若干引用する。

ただ猶し凶暴邪悪の者は、悪僧と宿衛となり。伏して以みれば、諸寺の年分及び臨時の得度の者、一年の内に、或いは三三人に及ぶ。就中の半分以上は、皆これ邪濫の輩なり。また諸国の百姓の課役を逃れ租調を通がる者、私に自ら髪を落として、猥に法服を着る。かくのごとき輩、年を積みて漸く多し。天下の民、三分が二は皆これ禿首の者なり。これ皆家に妻子を蓄え、口に腥膻(なまぐさき魚肉獣肉)を啖ふ。形は沙門に似たれども、心は屠児の如し、

醍醐天皇に三善清行は意見書を提出し、そこには出家得道する者が年に2、300人はいるが、その半数以上は邪悪で乱暴なものであり、諸国の百姓(農人、商人、職人、漁民、蚕など、多くの職能を指す。百姓イコール農業ではないことに注意)で、課役や租調を逃れて勝手に髪を落とし、法服(僧形)を着る者が増え、人民の3分の2が禿首の者になっていると訴えている。

『涅槃経』で言われている有様が、まさに日本に於いて延喜14年頃に生じたわけである。ここで「禿人」と「禿首の者」は同一と考えて良いと考えるが、親鸞はここで言われている「禿」の字を使ったと考えられる。つまり、「禿」とは、逃散した百姓が自ら髪を落とし、法服を着、「形は沙門に似たれども、心は屠児の如し」といわれるその当体である。その「禿」を自らの姓にしたのである。

≪4月号へ続く≫

はい！こちら真宗会館です

駐	在
日	記



駐在からひとこと

2020年教区報恩講はお疲れさまでした  
2021年教区報恩講に向けて始動しました

東京教区駐在教導

渡邊 誉

写真：2020年報恩講特集を作る  
『ネットワーク9』編集員と一緒に

1月号の『ネットワーク9』駐在日記の欄外にある「最近読んだ本」、「富岡畦草記録の目シリーズ『変貌する都市の記録』（著者；富岡畦草、富岡三智子、鵜澤碧美）は2017年8月に白楊社から刊行されている。定点観測撮影の生みの親である富岡畦草氏と、そのあとを引き継いだ富岡三智子氏と鵜澤碧美氏の、親子三代が60年以上にわたって東京の変化を記録したものをまとめて1冊にした写真集だ。ここにある東京を私は知らない。写真や映画、テレビ等の映像でしか見たことがない東京だ。進駐軍がいた風景、都電が走っていた風景、どれもみな私は知らない。都電の荒川線には一度だけ乗ったことがある。

ページをめくるごとに「昭和の古き良き街並み」とか「懐かしい風景」等と言ってはもらえない衝撃を私は受けた。この本について作家の片岡義男氏

の『週刊朝日』書評には「とっくに消えて、もはやどこにもない景色を写真のなかに見ると、感銘は深い。興味はつきない。これが本当にあったのか、という不思議さをどの景色にも感じる。なぜ、あったのか。—中略—1964年の赤坂・青山通りの写真がある。東京オリンピックに向けて高速道路の工事がおこなわれている。大学を出た次の年の青年として、僕はここを何度も歩いた。そのときは思いもしなかったことを、いまは痛切に思う。それまでなかったものが作られるとは、それまではそこにあったものが、破壊されて捨てられることだ。この写真が記録した景色は、まさにそのような景色だ」と書かれていた。

現在の東京も様々な所で開発は進んでいる。今年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックの後も開発は計画されつづけ、さらに進んでいく。



# はい！こちら真宗会館です



東京教務所 書記補  
大橋 百花

担当：収納事務全般、出版物頒布全般、  
教化委員会(出版班)、募財担当(東京3、6組)

好きな食べ物：餃子



8月1日付で東京教務所にご縁をいただき、半年ほどが経ちました。真宗会館などで寺族の方やご門徒さんとたくさんのお出あいがあり、皆さまの温かい人柄のおかげで慣れない環境ではありますが、楽しく過ごさせていただけることに日々感謝しております。

今回はじめて「所員のつぶやき」の依頼を受け、何を書こう！と考えたとき普段私がいかに何も考えずに生活していたのかということをお知らせされました。でも私にとって何も考えない時間は大切な時間でもあるのではないかと、とも思います。

休日は外に出ることが多く、近くの光が丘公園まで自転車を走らせ、一眼レフを持った人たちに混ざりバードウォッチング（私は肉眼）を試してみたり、大学が東京だったおかげで友達とも会えたりする日々を過ごしています。その中でも絵が好きな母の影響でよく美

術館巡りをします。東京には多くの美術館があります。多くの美術や文化や流行を感じられるのは東京の魅力の一つではないでしょうか。

最近モネ、フェルメール、クリムトなど見に行った中でも先日上野で行われていたゴッホ展には2回も行ってしまふほど感激しました。今ではゴッホの絵は値が付けられないほどの価値がありますが、生前は1枚しか売れなかったそうです。タイムスリップして買いに行きたいぐらいですが……。何百年ほど前の絵が今の私たちの心に響いてくるのは、今なお受け継がれている真宗の教えとも通じるものがあるのではないかなとも感じました。

これからもふらふらと絵を見たり、音楽を聴いたりする何気ない時間も大切に、ありのままの自分でいられたらな～なんて思いながら過ごしています。

教区の情報をおあなたに あなたの声を教区に!!

一緒にネットワーク9を作りませんか?

# 編集員募集中!!

# Network 9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

取材、原稿執筆、校正、デザインなど、紙面作りに関するすべてを行います。お寺の新聞やチラシを作る時のスキルも学べるかもしれません。パソコン初心者の方でも大歓迎です。先輩編集員が丁寧にご指導します。一緒に楽しいネットワーク9を作っていきます。興味がある方、お問合せは東京教務所（担当：佐々木）まで

ネットワーク9へのご意見・ご感想をお寄せください  
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 東本願寺真宗会館内 東京教務所  
【電話】(03)5393-0810 【ファックス】(03)5393-0814  
【mail】nw9@ji-n.net



スマホやパソコンでぜひアクセスを! 東京教区のホームページ



暮らしに  
じいーん

[www.ji-n.net](http://www.ji-n.net)

検索 暮らしにじいーん

## お寺をもっと身近に

多彩なコンテンツ

- じいーん散歩 **New**
- しんらんさまめぐり
- 法話/行事・講座
- なるほど仏事作法
- 寺院検索
- 他

うちのお寺も載しな〜!



## スタッフ募集

ホームページ班のメンバーは僧侶に限らず、月に約1回のペースで集い、アイデアを出し合ったり、時には現地取材もしています。ぜひ一緒に活動しませんか? (お問合せは教務所/不動まで)

# 1月敬弔

岡本澄 様

東京6組 往原教会 前坊守

1月22日命終 98歳

佐々木 祐昌 様

群馬組 覺應寺 住職

1月29日命終 77歳

生前のご功勞を偲び、  
念仏合掌して哀悼の意を表します。

下記掲載「涌」の注

- ※1 登録した利用者が交流できる会員制サービスのこと。ソーシャルネットワークサービスの略
- ※2 インターネット上で特定の対象に避難や批判が殺到すること。
- ※3 自分の名前を検索し、インターネット上における自分の評価を確認すること。

# 涌

## 編集員の随筆



お寺の掲示板がブームになっている。(公財) 仏教伝道協会が、お寺に掲示されている言葉を SNS (※1) に投稿してもらうことで募集し、大賞などが選ばれる「輝け! お寺の掲示板大賞」がきっかけであろう。2018、2019年と開催され、真宗大谷派の寺院も多く取り上げられており、教区内の寺院も、また教区発行の「掲示伝道用ポスター」の言葉も入賞している。私がお預かりしているお寺の掲示板も、入賞まではしないまでも SNS などに投稿されたこともしばしばある。

私がお寺の掲示板を書き始めて十数年。お寺の改築の際に無理を言って掲示板を取り付けてもらったこともあり、毎月の張替は私の責任と学びの場になっている。私は掲示する言葉のストックはするが書き溜めはせず、その時に思い出した言葉を書くようにしている。お聖教の言葉は勿論のこと、著名人や漫画などの言葉、自作した言葉も掲示している。流りの音楽の歌詞もあり、アイドルグループ

の歌う歌詞を掲示した時には「アイドルにはまった住職」とネット上でプチ炎上 (※2) したこともあった。

私が言葉を掲示する時に気を付けていることは

- ① 季節や時事に則した言葉を掲示する
- ② チャレンジした言葉を掲示した翌月はお聖教の言葉や仏教に出遇われた先達の言葉を掲示する

ことである。①については「赤表紙(お聖教)と新聞(私たちが生きる現実生活)の間に身を置く」ということで、②については面白くて目を引く言葉を見た人は翌月も見えてくれると信じ、教えの言葉に出遇うきっかけになると思うからである。だからどうしても書き溜めができない。

来月はどんな言葉を書こうかと考えながら、掲示した言葉が炎上していないかエゴサーチ (※3) する日々である。

(東京1組 本明寺 本田彰一)